

栂嶽(峠駅～大沢駅)

1995. 2. 26. (日)

曇時々晴

〔吾妻山の会〕

馬場

福島駅発 7時に乗車、二、三人スキーの人が乗っていたようだ。峠駅着 7時が分 駅を出る。山の会の人参加者に、氏名、住所、電話番号を手帳に記入するように言われた。次に吾妻山の会以外の参加者の自己紹介をした。スキー同志会の小林みち子さんも参加した。他に安達太良山の会、頂上で遊んでいる白河山岳会の人、個人参加の人など三十名近くあったようだ。

今日の山行のおおきくは、郡山のスポーツ用品店サンライフで知った。吾妻連峰の主なスキーコースは全部滑っているがこのコースだけ日頃行きたいと思いつながら残っていたコースだ。

駅前からシールを着け尾根を登行 886mを過ぎノボリノボリを通る。ここから右に尾根を登降 東側は大きな雪庇が張りだして割れぬがあり、西側の低木のおおきく進む。私は先頭から4.5番目を登行する。何時も遅れるので心配したが途中何回か休憩がありペースがゆるりだったので楽しかった。東側の谷には滑川温泉の屋根も見渡せた。そのはるか先の尾根は、霧ノ平で昨年遭難のおおきく尾根だ。また大滝が雪が消えて見える。小滝に着き大滝止する。ここまで、セバードの犬が元気に後になり先になりついてきた。パンをやるに類が雪の中にかくし、好むものは食べている。みんなに配して、大沢駅に着いたら電車に乗せ峠駅で降りしやろうと言っている。大沢駅一場の食堂によると何時もこのように案内しているようだ。

ここから栂嶽中腹のダケカンバ林のトラバースに出発、途中樹林の間の場所は十五メートルはなれた雪崩の危険をさける。

あとは梅林の右の針葉樹の斜面を登る。頂上には登らず右側のくぼ地で昼食休憩する。

ここから砂盛の右側の斜面を滑り降りる。途中休憩。東京から参加した女性が運いのか二隊に別れ大平コースに合流し吾妻放牧場の緩斜面を通り元小屋川を渡る。途中から除雪されいたのでしばらく歩くと、道路の左に登りスキーを着けてしばらく滑った。大小屋部落の分岐点まで歩き再びスキーを着けリフトの無いスキー場に滑りこみスキーをおく。

食堂で全員揃って反省会。私は、福島から車なりのビールをビールマビール強い人は、ドブウ、酒が入り盛会だ。これで千円では安いという声があがった。十六時二十四分に間に合ったお自己紹介も急ぎツアーを終了した。

△ コースタイム

峠駅出発 8:00 ----- 11:00M 9:00 -----
 小梅 10:00 ~ 11:00 --- 頂上下 12:00 ~ 12:00
 ~~~~~ 大沢スキー場 14:00

